

科目名		地域・公衆衛生看護学演習		分野・必選別・単位数		専門科目 (地域・公衆衛生看護学)		選択必修		4単位					
担当教員		◎教授 山崎恭子 准教授 遠藤寛子							科目ナンバー		T2C123				
課程		博士前期		配当年次		1年		配当学期		通年		授業方法		演習	
授業の概要		地域・公衆衛生看護学に関するさまざまな課題に焦点をあて、文献検討とともに、実践の場における参加観察やインタビューなど多様な手法を用いて多角的に検討する。それらを通じて、看護実践の中から自己の研究課題を焦点化し研究方法について検討する。													
授業の到達目標		①看護実践に関連した課題に関心領域から設定し、文献を検索することができる。 ②課題に関連する文献をクリティークすることができる。 ③課題に関連するフィールドで、フィールドワークを行い、その結果をプレゼンテーションできる。 ④自己の課題を明確化するとともに、研究方法を検討できる。													
	回数	担当者										行動目標			
	【第1回】科目概説 本科目の概要、授業目標を説明できる。 【第2回～第9回】文献検討 看護実践に関連した課題に関心領域から設定し、文献を検討できる。 【第10回～第14回】文献クリティーク 課題に関連する文献をクリティークできる。 【第15回～第19回】フィールドワーク 課題に関連するフィールドで、フィールドワークを行い、その結果を発表できる。 【第20回～第30回】自己の課題の明確化と研究方法の検討 自己の課題を明確化するとともに、研究方法を検討できる。														
授業計画															
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		【事前学修】		指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 回次の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。											
		【事後学修】		授業中の疑問点をまとめ、関連する文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。											
		【必要時間】		当該期間に60時間以上の予復習が必要。											
教科書		課題に関連した文献・資料を収集する。													
参考書		課題に関連した文献・資料を収集する。													
成績評価の方法および基準		口頭発表50%、レポート50%で評価する。 欠席1回ごとに5点減点する。													
その他履修上の注意事項		試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。													